

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 7917

URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 藤森 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理担当 飯島 崇夫 TEL (03) 3661-4211

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の累計期間の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期累計	59,619	(4.4)	36	(△97.8)	63	(△96.4)	85	(△91.3)
19年3月期第3四半期累計	57,084	(9.2)	1,699	(51.1)	1,784	(47.6)	981	(△70.1)
19年3月期	76,606	—	2,083	—	2,136	—	1,118	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期累計	4 95	—
19年3月期第3四半期累計	56 73	—
19年3月期	64 68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	81,351	28,991	35.0	1,644 24
19年3月期第3四半期	75,682	28,999	37.7	1,676 34
19年3月期	75,726	29,146	37.9	1,658 39

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期累計	2,801	△9,626	5,244	2,856
19年3月期第3四半期累計	3,115	△5,550	3,879	3,534
19年3月期	5,284	△7,656	4,673	4,392

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
平成 19 年 3 月期	10 00	10 00	20 00
平成 20 年 3 月期 (実績)	10 00	—	20 00
平成 20 年 3 月期 (予想)	—	10 00	

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	81,450	(6.3)	550	(△73.6)	495	(△76.8)	304	(△72.8)	17 円 57 銭

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 通期の業績予想に関する事項につきましては、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 及び平成 20 年 2 月 8 日公表の「平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における国内経済は、外需は概ね堅調に推移する中、設備投資・個人消費は底堅い動きに支えられ総じて穏やかな成長軌道を維持しましたが、米国のサブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅融資)問題が欧州を巻き込む形で再燃、国際金融市場が混乱したことに伴い、円高、株価下落、原油価格の一層の高騰が進む等、後半において景況感が悪化する展開となりました。

市場環境は、原油・ナフサ価格の高騰による原材料価格の値上げが継続する中、機能材料関連ではフラットパネルディスプレイ等の市場は拡大するも価格競争は激化しており、また包装・容器関連市場では消費の弱含み傾向等から製品への価格転嫁が容易でない状況が続くなど、引続き利益を圧迫する状況にありました。

このような環境の下、当社グループの化成品事業では、当初大幅な受注増を見込んでいた機能材料部門での情報記録用材の売上は上期の市場低迷により前年同期比で減少しましたが、他方、新設の当社昭和事業所における増産設備が稼動した機能材料部門の LCD 用マスキングフィルムならびに包装部門の詰替用スタンディングパウチ等を主体に受注を拡大した結果、売上高は前年同期比で堅調に増加しました。また、建築資材他の事業では完成工事の遅れから前年同期比で売上高は低下しました。

損益面では、原材料の高騰に伴う影響を受けつつも包装部門を中心に高付加価値製品の販売強化により増益を確保した一方、機能材料部門においては、新事業所の稼動に伴う減価償却の増大及び増員・訓練実施による労務費の増加に加え、当初計画した生産合理化効果の確保に遅れが発生したこと、更に情報記録用材の生産高が減少したこと等の影響から前年同期比で大幅な減益となりました。

その結果、当第3四半期における連結業績は、売上高 596 億 19 百万円(前年同期比 4.4%増)、営業利益 36 百万円(前年同期比 97.8%減)、経常利益 63 百万円(前年同期比 96.4%減)、四半期純利益 85 百万円(前年同期比 91.3%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、当社昭和事業所の設備投資等により固定資産が大きく増加したことにより、前連結会計年度末に対して 56 億 24 百万円増加の 813 億 51 百万円となりました。

負債につきましては、設備投資にかかる長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に対して 57 億 79 百万円増加の 523 億 59 百万円となりました。

純資産は少数株主持分5億 47 百万円を含めて 289 億 91 百万円に、自己資本比率は 35.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べて 15 億 35 百万円減少し、28 億 56 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な増減理由は次の通りです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、売上債権の増加、たな卸資産の増加などの資金減少要因があったものの、当社昭和事業所を中心に減価償却費 40 億 28 百万円、仕入債務の増加 23 億 45 百万円があったこと等から、28 億1百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当社昭和事業所等における有形固定資産の取得等により 96 億 26 百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は借入金の増加等により 52 億 44 百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

機能材料部門において、情報記録用材の需要は第4四半期に入り回復しつつありますが、その売上の増加は限定的なものが見込まれること、また同部門において目指した生産効率の改善に遅れが生じたこと等により、平成 19 年5月 18 日に公表いたしました通期の連結業績予想及び個別業績予想を平成 20 年 2 月 8 日公表の「平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

尚、機能材料部門での生産効率改善に係る収益寄与については半年程度の先送りは予想されるものの、来期においては相応の効果を発揮するものと見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

(内容) ① 一般債権に係る貸倒引当金の計算

前中間連結会計期間における貸倒実績率を用いて計算しております。

② 固定資産の減価償却の方法

年度見込額のうち当該四半期までの累計値を計上しております。

③ 税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率をベースとした、当連結会計年度の予測税率を用いて計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更

当連結会計年度より法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づいた償却方法により減価償却費を計上しております。また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

なお、この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期までの累計の減価償却費は390百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ390百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	3,774	3,046	4,632
2. 受取手形及び売掛金	25,123	25,893	23,744
3. たな卸資産	9,132	9,352	8,067
4. その他	1,852	2,215	2,058
流動資産合計	39,883	40,507	38,502
II 固定資産			
1. 有形固定資産	29,959	35,252	31,373
2. 無形固定資産	833	744	811
3. 投資その他の資産	5,005	4,845	5,038
固定資産合計	35,798	40,843	37,223
資産合計	75,682	81,351	75,726
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 支払手形及び買掛金	19,979	21,398	19,080
2. 短期借入金	2,410	4,025	3,597
3. 1年以内償還予定社債	-	200	-
4. 賞与引当金	426	470	818
5. 役員賞与引当金	24	22	37
6. その他	8,469	6,426	8,239
流動負債合計	31,309	32,543	31,773
II 固定負債			
1. 社債	200	-	200
2. 長期借入金	9,507	14,282	9,115
3. 退職給付引当金	3,636	3,689	3,474
4. 役員退職引当金	337	354	346
5. その他	1,691	1,491	1,671
固定負債合計	15,374	19,816	14,807
負債合計	46,683	52,359	46,580
(純資産の部)			
I 株主資本			
株主資本合計	27,252	27,129	27,389
II 評価・換算差額等			
評価・換算差額等合計	1,295	1,314	1,298
III 少数株主持分	451	547	457
純資産合計	28,999	28,991	29,146
負債、純資産合計	75,682	81,351	75,726

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率(%)	金額
I 売上高	57,084	59,619	2,535	4.4	76,606
II 売上原価	47,518	51,842	4,323	9.1	64,044
売上総利益	9,565	7,777	△ 1,788	△ 18.7	12,561
III 販売費及び一般管理費	7,866	7,740	△ 126	△ 1.6	10,477
営業利益	1,699	36	△ 1,662	△ 97.8	2,083
IV 営業外収益	377	420	43	11.5	475
V 営業外費用	291	394	102	35.0	422
経常利益	1,784	63	△ 1,720	△ 96.4	2,136
VI 特別利益	17	44	27	157.3	53
VII 特別損失	116	45	△ 70	△ 61.1	147
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,685	62	△ 1,622	△ 96.3	2,042
税金費用	672	△ 88	△ 761	△ 113.1	882
少数株主利益	31	65	33	107.7	40
四半期(当期)純利益	981	85	△ 895	△ 91.3	1,118

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,685	62	2,042
減価償却費	2,574	4,028	3,568
売上債権の増減額(増加:△)	△ 2,206	△ 1,485	△ 1,770
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 1,359	△ 1,236	△ 296
仕入債務の増減額(減少:△)	3,840	2,345	2,934
法人税等の支払額	△ 1,577	△ 380	△ 1,565
その他の増減額(減少:△)	158	△ 532	372
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,115	2,801	5,284
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,705	△ 9,800	△ 7,788
その他の収支(支出:△)	155	174	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,550	△ 9,626	△ 7,656
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 150	200	750
長期借入れによる収入	5,200	7,600	5,200
長期借入金の返済による支出	△ 817	△ 2,205	△ 921
その他の収支(支出:△)	△ 352	△ 349	△ 354
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,879	5,244	4,673
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	21	44	22
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,466	△ 1,535	2,323
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,068	4,392	2,068
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,534	2,856	4,392